

医療・介護・救護がそろった

名古屋市厚生院の特別養護老人ホームの 存続を求める要請署名

名古屋市長 河村たかし様

<要請趣旨>

名古屋市厚生院は、市内で唯一の公設公営の特別養護老人ホーム（特養）です。同一の建物内に附属病院、救護施設が併設され、医療・介護・福祉サービスを一体的に切れ目なく提供する全国でも他に例のない施設として運営されています。

ところが、名古屋市は、唐突に2020年12月31日に新たな入所申し込みを打ち切ってしまいました。その間、入所者・家族や地域住民に十分な説明はありません。

市が公表した計画によると、特養は300人ある定員を2027年度末には廃止、附属病院の介護療養型医療施設は2024年3月末までに廃止するとしています。

名古屋市厚生院は、「身元引受人のいない人」を21.0%（民間特養の20倍）、「生活保護受給者」を26.3%（民間特養の5.6倍）も引き受けています。また、市内の居宅介護支援事業所から、「医療依存度の高い方の受け入れ」「緊急時の対応」「困難事例の対応」を厚生院に期待する声が多く寄せられています。

医療的ケアが必要な要介護者や身寄りの無い一人暮らし高齢者は増えています。厚生院は、これからの社会にこそ必要な施設です。コロナ禍や災害時に対応できる施設の役割が今、見直されており、機能の充実こそが求められています。

市内には特養待機者が3,600人以上（2020年4月1日）います。待機者解消のためにも、市民の共有財産である貴重な施設は存続すべきです。

以上の趣旨から次の項目を要請します。

<要請項目>

1. 名古屋市厚生院の特別養護老人ホームを存続すること
2. 名古屋市厚生院が持つ医療、介護、福祉を一体的に提供する機能を残すこと

氏名	住所

ご記入いただいた個人情報はこの要請目的以外には使用しません

名古屋市厚生院を守る会

（連絡先：愛知県社会保障推進協議会 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館301）

TEL: 052-889-6921 FAX: 052-889-6931 E-mail: syahokyo@airoren.grjp